

加茂市の中学校部活動の 取り組みについて思う

市内中学生と父親

加茂市の部活動の新方針について

私は加茂市の教員ではないので伝え聞く限りですが、加茂市の部活動の取り組みは耳に入ってきました。休日の部活は大会参加に限られそれも事前に申請しなければなりません。また、顧問が黙って部活動を実施した場合注意を受けているようです。厳しく加茂市教育委員会が取り組んでいる様子が伝わります。

加茂市の取り組みについては複雑な感想を持っています。まず、保護者の立場としては、子どもの健康面の発達に果たす部活動の存在の大きいです。この夏休みから長期休業中の部活動が原則禁止となりました。1、2年生は長期休業中の毎日2時間〜3時間（夏休みの部活を20回程度として合計すると50時間くらいになる

でしょうか）運動をして過ごすのとしなないとでは体力面での影響があったたのではないのでしょうか。それ以上に、伸び盛りの成長期です。運動能力を高める上でも貴重な時期であります。

部活での自信を糧に人間性を高める生徒もいます。また、部活で磨いた技能で高校を選ぶなど、自分の一生を左右する生徒も少なからずいるわけです。それを考えると何も活動しない期間が長いことのデメリットは少なからずありそうです。特に、長期休業中の部活は教師の勤務時間内の活動であるから、無理して原則禁止にしなくてもいいように思います。

しかし、働く教師の労働環境として考えると違った見方をしてしまいます。やはり、教師は部活動で採用されているわけではないので、部活よりも授業が優先さ

れなければなりません。しかし、部活が教科以上に教師の負担になっていることは問題です。

部活顧問の立場から

自分の身近な教師の中には、部活動に熱中し自分から希望して休日を返上し取り組む方もいます。私は希望して部活動の顧問をしなければならないのでそこまで熱心にはなれません。しかし、部活を顧問の判断で休むのは中々勇気のいることです。どの部活も休日取り組んでいる中、同調圧力により自分も部活を取り組まざるをえなくなってきました。休日に部活をしなくても県大会まで勝ち進むくらいの指導力があるのなら休日の部活をしなくても保護者は納得するかもしれません。しかし、多くの教員はそうではありません。

また、部活動は自分の学生時代の運動の取り組みを指導に活かせる場ではありません。他の職員もいるので、それらの経験を生かして中学校で指導する機会はありません。私自身をふりかえっても学生時代の運動の顧問をしたのは1年だけです。その他、約30年あまり仕事ではじめて取り組んだ競技の部活ばかりです。もし、保護者が目の色を変えている部活の場合、「新

しく顧問になった先生は指導力がない」ということで、顧問を変えるよう保護者から校長先生に直訴されたりもします（私もありました）。そうになると、顧問ができることはせめて部活を休日もすることくらいの誠意を見せることになってくるわけです。

昔と違って生徒の安全対策が第一に言われる時代です。部活を子どもに任せつきりにして、時々顔を出すというわけにはいきません。万一自分がついていない時に子どもが怪我をした場合の責任は顧問教師にかかります。それゆえ、立場が部活顧問か副顧問かで放課後の時間のゆとりが全然違ってきます。実際、中学校現場でも校務分掌決めでは、一部の熱心な教師以外は顧問の希望がないという話も聞いたこともあります。

教員の働き方から見ると

教師がブラックな職場環境であることは若い人たちに広く知られているようです。ある大学の先生から聞いた話では、最近の大学生の意識が変わってきたということでした。学生の口から「ワークライフバランス」という言葉を耳にするとのことでした。その実態から考えると、部活動で休日がつぶれる教師の仕事は若者

から敬遠されるのも仕方ありません。

日本教育新聞によると2018年の教員採用試験の志願者数が全国で前年より1万5千人減、平成25年度採用から比べておよそ2割減となり、同年度以降で最少となるデータが記事となりました。倍率が下がることで問題なのが優秀な教員を確保できないことです。教師の資質として、教師は子どもへ接する力、保護者への対応、校務分掌など事務的な能力と多方面にわたる専門性を求められます。高度な専門職です。倍率が低くなるということは、どれか実務能力に欠けている、または意欲に欠けている人も教員になる可能性があることです。その時、同じ職場の他の教員が支えなければなりません。ひとりの教員の資質の問題だけでなく、学校全体の教育の質の低下につながってきます。やはり、教師が若者にとって魅力の職場でなければなりません。

加茂市の取り組みについていいか悪いかを結論づけるのはとても難しいです。すべてがいいとは言いきれません。強制力を働かせても部活を休止することで助かる教師も少なからずいることは考えなくてはならないように思います。

息子の中学生の1つの声

僕は今回の加茂市の提案は大賛成です。なぜかというと、僕は夏休みの明けがをしていたからです。足が痛いまま部活を続けていました。夏休み前足が痛かったので、部活時間が増え、運動量が増える夏休みを迎えるのがとても心配でした。この夏は部活の時間が減ったので体に無理して運動しなくてもよくなりました。

もう一つ理由があります。それは暑さについてです。僕が所属する卓球部は体育館で活動します。建物が夏の太陽に熱せられて暑い上、風通しが悪いため暑くて大変です。外に出ると涼しく感じる時さえあります。熱中症の症状が出ていると感じることもありました。そんな中、休み期間なので3時間は部活で運動をするわけです。

今も、土日は大会の時以外は部活がありません。部活がなくて家でひまな時が多いです。それでも、夏休みの部活のことを考えるといまのままでもいいのではないのでしょうか。

(一人の市民：加茂市)